

令和元年第8回定例会議

教育委員会会議録

令和元年10月25日

羽島郡二町教育委員会

令和元年第8回羽島郡二町教育委員会定例会会議録

○日 時 令和元年10月25日(金) 午前10時00分から正午まで

○場 所 笠松町役場 第1会議室

○議 題

議案第34号 平成30年度羽島郡二町教育委員会特別会計歳入歳出決算について

○協議題

- (1) 羽島郡二町「立志塾」研修の報告について
- (2) キッズウィーク講座等参加状況について
- (3) 次回(第9回)教育委員会定例会ならびに第48回羽島郡二町教育委員会表彰式の開催について
- (4) 市町村教育委員会連合会研究総会について
- (5) その他

○出席者

教育長	宮 脇 恭 顯
教育委員(教育長職務代理者)	久 納 万里子
教育委員	岩 井 弘 榮
教育委員	杉 江 正 博
教育委員	林 潤 美

○説明のために出席した者

総務課長(管理監)	井 上 哲 也
学校教育課長	青 木 孝 憲
社会教育課長	野 田 新 司

1 本日の書記

総務課長(管理監)	井 上 哲 也
-----------	---------

【午前10時00分 開会】

△開 会

◎教育長 会期を回り、10月25日（金）午前10時00分から笠松町役場第1会議室で令和元年第8回羽島郡二町教育委員会定例会の開会を宣言した。

議事日程により会期は本日1日とする旨を会議に諮ったところ、異議なしと認め、会期は1日限りに決定した。

△日程第1 前回の会議録の承認について

◎総務課長 前回の会議録を説明報告する。

議 題 議案第29号 羽島郡二町教育委員会事務組織規則の一部改正について

議案第30号 笠松町学校給食センター運営規則の一部改正について

議案第31号 笠松町学校給食実施要綱の制定について

議案第32号 令和元年度羽島郡二町教育委員会教育指針「方針と重点」（前期中間評価）について

議案第33号 令和2年度使用小・中学校用教科用図書岐阜地区採択について

議案書に基づき、以上5の議案が承認されました。

協議題 (1) 岐南町立岐南中学校の内申について

学校教育課長が内容報告した。

(2) 笠松町立笠松中学校の情報漏洩について

学校教育課長が処分内容を説明した。

(3) 令和元年度全国学力・学習状況調査について

学校教育課長が調査結果を説明した。

(4) 羽島郡二町「立志塾」について

学校教育課長が研修の最終説明を行った。

(5) 岐阜県市町村教育委員会連合会研究総会について

総務課長が出発時間の確認をした。

(6) キッズウィークについて

社会教育課長がキッズウィークのチラシ等について説明した。

(7) 第48回羽島郡二町教育委員会被表彰者について

総務課長が今年度は5名の推薦があったことを報告した。

(8) 次回（第8回）教育委員会定例会の開催について

総務課長が10月25日（金）10時から笠松町役場で開催することを確認した。

(9) 令和元年度第1回羽島郡二町教育委員会運営協議会の開催について

総務課長が10月25日（金）13時30分から笠松町役場で開催することを確認した。

- (10) その他 教育支援センター「スマイル岐南」の一時移転について
総務課長がくつろぎ苑からほほえみ会館へ一時移転することを説明した。
- (11) その他 令和2年度の新規事業について
教育長が二つの事業を計上する予定であることを説明した。

以上が、令和元年第7回教育委員会定例会議の報告である。

◎教育長 何かご意見等ありますか。

◎各委員 【意見なし】

◎教育長 それでは、前回の会議録の承認は、原案のとおり承認することといたします。

△日程第2 教育長の報告

◎教育長 はじめに

- 1 岐阜市教育長が久しぶりに地区教育長会に出席された。話を聞きながら羽島郡でいじめがあったとき、どんな対応ができるか考えた。10の項目について話があった。

2 児童生徒に「自分に気付かせる」指導

新しい学習指導要領による教育課程の実施に向けて、残すところ半年になった。来年から小学校が、中学校では再来年から新しい学習指導要領になる。子どもたちの学びの質を変えろということ、先生方の指導感を変えろということ、2学期制をもとにやってきたが、3年で先生、1、2年でリーダーシップをとる校長が変わるということで引継ぎがうまくできない。子どもにつけ、子どもに寄り添えと、何度も言ってきたが、それがどういうことか、ということ、改めて問いなおそうと思ひ資料を作成した。

子どもたちが目標を立てたら、その目標はどんな意味があるのか、どうすると目標が叶うのか、それができるのか、ということを丁寧に本人に話してやる、認めてやる、そういうことが寄り添うということである。子どもたちの目標は、子どもの思いつき、自分を振り返る、足元を見て、出来ることかどうか判断することは難しい。

私たちがやるべきことは、たとえ失敗しても本人の努力は、これから生きるためにも重要で、しっかり教えてあげないといけない。情動のコントロールがとても大切で、イライラ、怒りなどを抑えるコントロール、道徳教育の充実、人に優しくすること、人のことを思える大切さ、公平なもの見方など丁寧に教えていかなければいけない。目標を持って努力する子どもに先生が寄り添わなくてはならない。

たとえば、担任がクラスの子どもに働きかけ、一人でも「先生ありがとう」という言葉を聞かれれば、その先生の力は伸びたと思う。それが他の子どもに生きることになる。そういうことを意識して教育活動にあたってほしい。

3 その他

(1) キッズ・ウィーク

土日を含め、10日間連続の休みをつくった。東小学校から資料をいただいた。この間の計画を一人一人が立てて意義のあるキッズ・ウィークになるよう準備されていた。

① ミニ笠横丁

雨により、土曜日にできず、日曜日のみで開催となった。笠松町中央公民館での開催だったが、岐南町の児童も多く参加していた。

地域の方々もブースを設けていただき、500人近い参加者だった。

② みんなの音楽会

笠松中学校の吹奏楽部が中心となり行われた。

③ ドッジ・ボール大会

西小学校の「おやじの会」が提案し、すべての小学校から参加者を募った。事前に参加者を集め、練習とルールを決め、チーム決定など準備を周到にして実施した。保護者も多く会場に残り、最後は優勝チームと大人チームが対戦した。大人との対戦が組まれていたこともキッズ・ウィークの趣旨を踏まえた活動になっていた。

(2) 立志塾

初日は雨だった。その後3日間は好天に恵まれた。当初の願いは達成できた。社会教育課は各町や自主的に計画していただいたプランの援助をした。あわただしい4日間だった。教育委員さんにも積極的にかかわっていただいた。最終日、飛騨・世界生活文化センターの会場もよく、センターのご配慮には本当に感謝している。

◎教育長 何かご意見等ありますか。

◎林委員 保護者など思わぬところから情報が漏れる。適切に対応しなければいけない。いじめを早く認定しているものだと思うが、うわさ等、情報が漏れると見込んで対策する必要がある。いじめた子が権力をクラスで振りかざすと、いじめられた子は居づらい。先生は毅然とした態度をとってほしい。弱い人が出ていくのはおかしい。いじめられた子がどんどん孤立する社会になっている。

△日程第3 議案第34号 平成30年度羽島郡二町教育委員会特別会計歳入歳出決算について

◎教育長 議案第34号 平成30年度羽島郡二町教育委員会特別会計歳入歳出決算についてを議題といたします。事務局より説明願います。

◎総務課長 資料の7ページから13ページをもとに説明。

歳入、分担金、予算額2,978,000円に対し、決算額1,826,100円。負担金、予算額166,796,000円に対し、158,200,

784円、繰越金予算額1,000,000円に対し、決算額1,000,000円、諸収入、預金利子、予算額35,000円に対し、決算額14,680円、雑入、予算額1,000円に対し、決算額0円、県支出金、教育費県補助金予算額403,000円に対し、決算額237,000円です。

支出、教育総務費、教育委員会費、予算額2,230,000円に対し、決算額2,134,612円、事務局費、予算額143,852,000円に対し、決算額136,131,904円です。学校教育費、教育指導費、予算額9,594,000円に対し、決算額9,197,511円、教育振興費、予算額8,648,000円に対し、決算額7,106,372円です。社会教育費、社会教育総務費、予算額4,752,000円に対し、決算額4,578,878円です。保健体育費、保健体育総務費、予算額1,137,000円に対し、決算額1,129,287円です。

◎教育長 何かご意見等ありますか。

◎各委員 【意見なし】

△協議題(1)羽島郡二町「立志塾」研修の参加について

◎教育長 羽島郡二町「立志塾」研修の参加についてを議題といたします。事務局より説明願います。

◎学校教育課長 事前研修を3回行いすべての参加を条件にした。テーマ別班の交流会をこの中に位置づけた。飛騨の研修について、名前を付けないと報告しづらい。雨天変更により英会話等実習を行った。いじめ問題について、絵に描いたような分かりやすいいじめはほとんどない。

そのため、いじめの認定は学校に委ねられている。中には訴えたもの勝ちになっているケースもあると思われる。どうすればいじめられている子を救えるか考える子どもたちが多かった。

そんな子どもたちが多かった。私たちが勉強になった。子どもたちの心の中を見るという機会では、今回とってもよかった。

岐南中校長は報告会を行う予定でいる。子どもたちの活躍の場を保証していきたい。来年度に向けて歩み出したい。

◎教育長 何かご意見等ありますか。

◎久納委員 昨年に比べ、スケジュールがハードでなかった。青少年の家での時間が長くなり絆が深まったのではないか。午後の白川での行動もゆったりできた。子どもたちが白川村の活性化について考えたことは、子どもたちにとっても刺激になったと思う。

◎林 委員 報告会はどの学校でもやってほしい。

△協議題（２）キッズ・ウィーク講座等参加状況について

◎教育長 キッズ・ウィーク講座等参加状況についてを議題といたします。事務局より説明願います。

◎社会教育課長 キッズ・ウィーク期間中岐南町、笠松町でさまざまな行事が行われた。雨による中止となった行事もあった。講座人数の少ないものに関しては見直しを考えていきながら、子どもたちの興味のあるものを考えなくてはいけない。ドッジボールには90名、みんなの音楽会には250名、多くの参加があった。

保護者からの感想としまして、

- ・「キッズ・ウィークのの教室はとてもありがたいです。」
- ・「普段できない体験が親子で一緒にできてよかった。」
- ・「夏休みに人気でなかなか参加できない講座をキッズ・ウィークで入れてもらおうと、夏よりは空いているのでやりたいです。」
- ・「親の都合もあり、どこにもつれていけず可哀そうな思いもありましたが、一緒に過ごす時間は貴重なものでよかったと思います。」
- ・「夏休みが終わったばかりで、また休み、休みが多いと思いましたが、他の学校が休みでない時に家族で旅行ができて良かった。」

などさまざま感想をいただきました。

キッズ・ウィーク中の学童人数について、10月7日から11日まで一日中行った。岐南町西小学校288名、東小学校277名、北小学校228名、合計793名、笠松町笠松小学校105名、松枝小学校410名、下羽栗小学校244名、合計759名の利用がありました。

小6、中2に対するアンケート集計中ですが大半がよかったというものでした。保護者に対して計画的に有給休暇はとれましたかという質問に対して、まったく取れなかったが約4割、平日5日間取れたが約6割でした。アンケート集計結果は次回提出します。

◎教育長 何かご意見等ありますか。

キッズ・ウィークの職員の過ごし方、学習会を1、2日行った。本当の思いは勉強したい子が、同じ先生でなくても構わないから学校の勉強の機会を作ってあげたい。先生の休暇もここに集中したことは工夫しなくてはいけない。年間の休みを計画的にとることは難しいかもしれないが、3人くらい学校に待機して、残りの職員が効果的に休暇をとると、工夫しなければいけない。

一方で、今年の10日の休みは長すぎるということについては検討しなければいけない。アンケートの結果で意見を賜りたい。

◎学校教育課長 10日間休んだ職員は10%、30年度と元年度、比較して大差はない

が、部活の秋季大会が近いため、なかなか休みがとれない者もいた。
期間中、約8割が休暇をとれている。

◎林 委員 近隣市町はどういう形態ですか。

◎学校教育課長 岐阜市、各務原市、羽島市は秋季休暇として土日プラス2日間休み。岐阜市は二学期制実施自体が学校長に任せられている。これだけ長い休みをとっているのは羽島郡と白川村だけだと思う。

◎久納委員 子どもの手術、入院させて治療を行いたいときこの10日間はちょうどよいと、最初から計画して入院治療を行う人もいた。中学生の保護者は秋季休業で昼間の時間がるので、ずっと勉強会の講習を開いてほしいという意見もあった。

◎杉江委員 10日間いろいろなところへ出かけたいという家庭、まったく出かけられない家庭、家庭間格差がすごく現れることは考慮すべき。

◎林 委員 アンケートを丁寧に精査されるといい。

◎杉江委員 受け皿が少ないので仕方がないが学童保育に通う東小が少なすぎる。松枝が410人いるなら東は450人でもおかしくないが、残念ながら場所がないので少ない。

この結果を真摯に受け止め、学童、ほかの事に関し何らかの手当てが必要。学童保育の環境がよくないことも聞いているので、そのところを考えなくてはいけない。

◎教育長 先生方の土曜の授業は岐阜市、大垣市のように年間を通してやっていない。この長さでキッズ・ウィークをやっているところはない。先生方の勤務の意識を変えてもらいたい。安易に休みが増えたのでここで休みを取るとなると、先生方の指導力の改善にならないので、この部分を先生方に働きかけていく必要がある。何か大きな問題や批判があればやめなくてはいけない。

先生方は年間を通して勤務を自分で見直す必要がある。働き方改革を推進していくうえで、先生方の意識改革が必要。それが行われればキッズ・ウィークは認められる。

△協議題(3) 次回(第9回)教育委員会定例会ならびに第48回羽島郡二町教育委員会表彰式の開催について

◎教育長 次回(第9回)教育委員会定例会ならびに第48回羽島郡二町教育委員会表彰式の開催についてを議題といたします。事務局より説明願います。

◎総務課長 日程調整をお願いしたい。

◎教育長 定例会については11月20日(水)13時30分から、表彰式は同日の15時から岐南町中央公民館で開催する souhaiteい。

△協議題(4)市町村教育委員会連合会研究総会について

◎教育長 市町村教育委員会連合会研究総会について、事務局より説明願います。

◎総務課長 11月8日(金)に開催されます。先日、事務局より連絡があり、初の試みで今年は参加者が各グループに分かれ、教育長が座長となりグループ討論が行われますのでご承知願います。

◎教育長 決められた課題を議論するのではなく、それぞれがもっている課題を話し合うかもしれない。意見交換の場だと思ふ。

当日、羽島郡二町教育委員会として、「次代の羽島郡を担う児童生徒を育てる二学期制の実施」と題して以下の内容を発表します。

1 二学期制導入の趣旨

2 四つの柱

(1) 児童生徒が自らの努力や成長を語る、年2回の三者懇談

(2) 意志高くリーダーシップをもって学校を牽引する志を育てる
立志塾

(3) コミュニティスクールによる地域に開かれた学校づくり

(4) 教職員の働き方改革

3 活動について

(1) 三者懇談

(2) 立志塾

(3) コミュニティスクール

(4) 教職員の働き方改革

4 課題

羽島郡に勤務の本拠地をおく教職員が少なく、導入の趣旨を理解し、指導観や児童生徒観を向上させても3年間の勤務後異動するため、二学期制実施の趣旨がなかなか繋がらない。毎年、機会を設けて導入の主旨の徹底を図っているが、全教職員が足並みを揃えることが難しい。校長会等を活用して絶えず効果的な実施について資料を整え啓発していく。

5 予算

実行委員会形式での立志塾の実施

教職員の働き方改革

その他、よろしいですか、これをもちまして閉会とします。

【正午閉会】

教育長 宮脇 恭顯